

6

自立に向けての関わり

(1) 思春期の子どもと向き合うために

★思春期の子どもと関わる時、一人の個人として子どもを尊重し、子どもとの信頼関係を築いていきましょう。

思春期の子どもは、保護者や大人に対してイライラしたり、ムカムカしたり、時には反抗的になったり、思わず攻撃的な態度や行動をとってしまうことがあります。こうした「感情の起伏」や周りの大人に対して「反抗的になる」ことは、子どもの成長・発達の証でもあります。大切にされてきた保護者や大人に対して、信頼しているからこそ「反抗的」になったり「攻撃的」になったりします。思春期独特の発達の特徴です。

思春期は、成長発達という変化の中でここが最も不安定になります。むやみに干渉過ぎず、子どもの成長する力を信じて温かく見守りましょう。冷静に子どもの姿を見つめ、常に会話を重ねる努力をしましょう。不安定なところを受け容れながら関わっていくことが大切です。

また、思春期の子どもは、保護者を一人の個人として、これから自分が成長していく大人のモデルとして見ています。子どもに対して「誠実」、「公平」、「率直」であることが信頼につながります。



◆ 参 考

思春期の心

思春期は、これまで保護者や家族をよりどころにして築いてきた自分から「自分なりの自分」を築くために、自分を見つめ「アイデンティティ(自我同一性)」を確立する重要な時期でもあります。

- (特徴)
- ・保護者から心理的に離脱し始め、反抗的態度も表れる。
 - ・非常に不安定、孤独感や無力感におちいることもある。
 - ・こうでありたい自分(理想の自分)に対し、現実の自分とのギャップに劣等感を感じ、イライラや心の問題を生じやすい。

(2)思春期の子どもとの関わり

- ★思春期の子どもの発達を理解し、自立に向けて、関わりましょう。
- ★子どもを育てる保護者として、なぜ「ならぬこと」であるかを理解させつつ、「ならぬことはならぬ」という厳しい態度も持ちましょう。

子どもの発達に応じて、保護者が支援できることは変わってきます。子どもが何か課題を抱えたときに、保護者はつい口を出したり手助けしたりしたくなります。しかし、それが子どもの課題である場合、保護者がそれをしてしまうことで、子どもの自立につながる問題解決能力が損なわれることもあります。

また、思春期になると子どもたちは、保護者と話したがらなくなる傾向もあります。保護者は、不安と焦りをもちますが、それだけ子どもの自立が始まったのだと、思春期の子どもの発達を理解しましょう。自立に向けて子どもの成長発達を見守りながらも、これだけはゆずれないという場合には、感情的に言うのではなく、冷静に、なるべく早い段階で伝えることが大切です。

そして、思春期の子どもが、本当に困ったときには、相談してもらえる保護者でありたいものです。話を聴いてくれ相談できる保護者であるかどうか、思春期の子どもたちにとって、最も重要です。



◆ 参 考

思春期の発達への理解

この時期は、心も身体も大人ではないが全くの子どもでもない状態(思春期初期)から始まり、次いで大人と子どもが入り交じりせめぎあう状態(思春期中期)、そして最後には心も身体も大人であることを確かなものとしていく状態(思春期後期)の3つの段階に分けることができます。

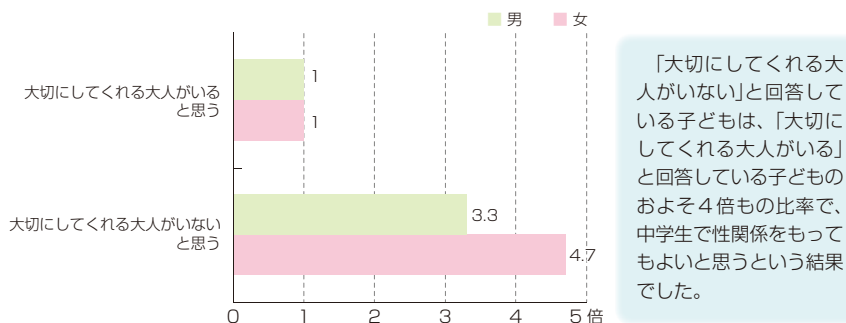
※文部科学省「家庭教育手帳」より

～大切にしたい性・いのち～

★「大切にしてくれる大人がいることを子どもが実感する」ということが重要です。大切にしてくれる大人は、保護者でも、親戚の方々でも、学校の先生方でも、地域の方々でも、子どもが「大切にされた」という実感をもてるような関わりをすることが必要です。大切にされた実感をもたせられるように関わっていきましょう。

自分を大切にしてくれる大人がいることを子どもが実感することが、子どもたちの性関係をもってもよいと思うことに歯止めをかけるようです。

図28 「大人に大切にされている実感」と「中学生で性関係をもってもよいと思う割合」との関係



全国中学生調査2006(京都大学大学院研究科准教授木原雅子氏調査)

家庭生活の中で、「両親がお互いを大切にする」、「保護者が子どもを大切にする」、「家族がお互いを大切にする」、そうしたさまざまな愛情関係を、子どもたちに豊かに味わってほしいものです。

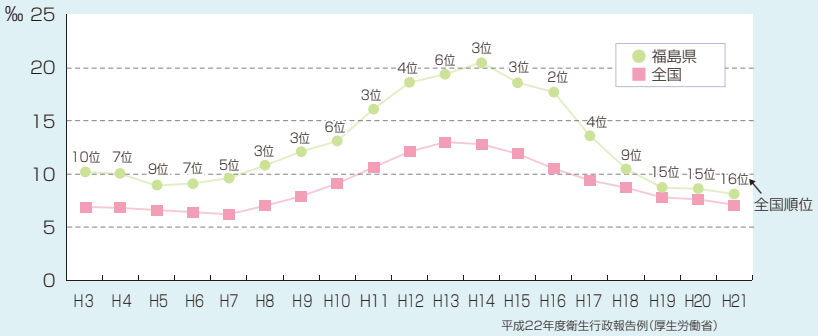
家庭や地域、学校においても、関わる大人から大切にされた実感を子どもがもつことは、「大切にされた自分」という、子どもが自分自身を大切に思う気持ちを高め、前向きで意欲的な自己像(セルフイメージ)をはぐくみます。

◆ 参 考

若者の性の現状

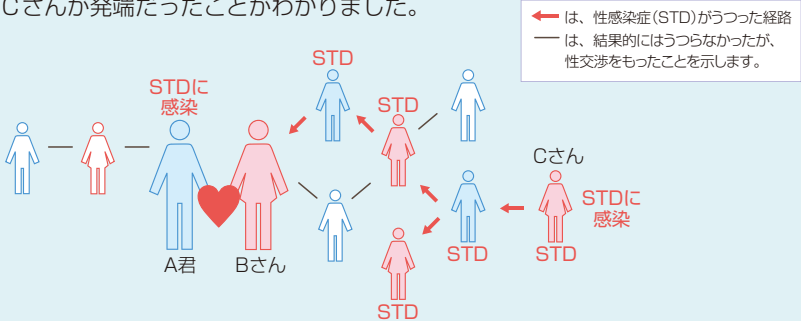
本県における10代の人工妊娠中絶実施率は、低下してきているものの全国に比べて高い現状です。子どもたちに性・いのちを大切にできるように家庭でも伝えていくことが大切です。

図29 人工妊娠中絶実施率の推移(10代)



セクシャルネットワーク

性的接触が繰り返されていくうちに網の目のように性感染症が広がっていきます。下図では、A君がBさんからうつされた性感染症(STD)の感染ルートをたどると、Cさんが発端だったことがわかりました。



※性感染症(STD)・・・STD=Sexually transmitted diseases
性的接触によって感染する病気(いわゆる性病)。